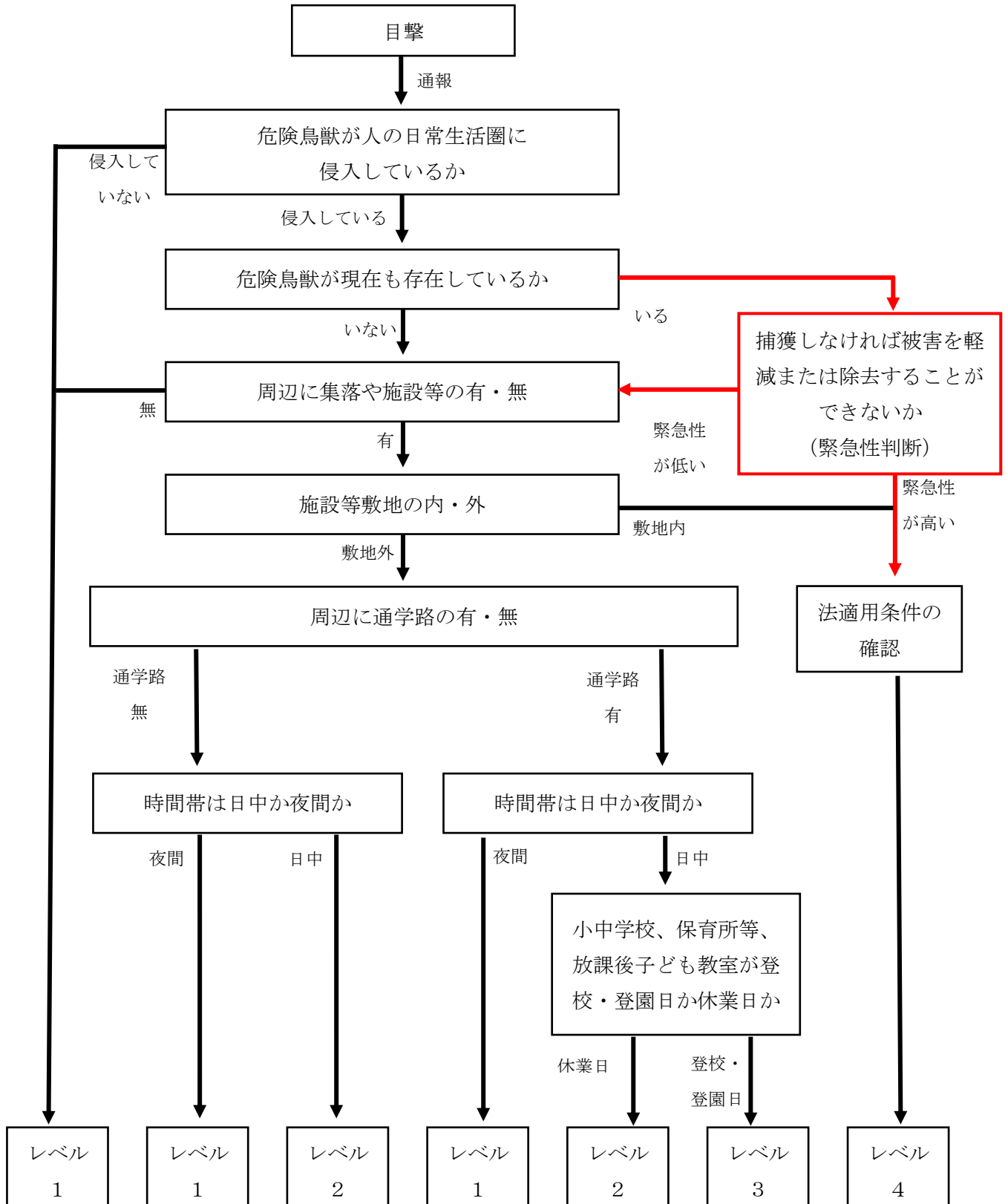


久慈市教育委員会 クマ出没対応マニュアル

クマの出没情報 子供の安全が最優先!!

警戒レベル対応フロー図



レベル 1

対応の必要なし



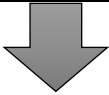
最新情報の収集及び状況に応じて、市役所（林業水産課、山形地区は産業建設課）・スクールガード等関係機関との連携

警戒レベル 1
<ul style="list-style-type: none"> ● 目撃箇所周辺に集落や施設等がない場合。 ● または、目撃箇所周辺に集落や施設等があるが、目撃された時間が夜間である場合。

レベル 2

対応が必要

警戒レベル 2
● 目撃箇所周辺に集落や施設等があり、目撃された時間帯が日中である場合



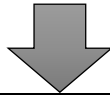
観点 段階	子 供	保護者	通学路	職 員
登校前		<input type="checkbox"/> 連絡 ①状況に応じてメール・SNS等を利用した保護者への注意喚起 （目撃場所・時間等） ②登校時の注意事項		<input type="checkbox"/> 正確な情報収集 （林業水産課、山形地区は産業建設課） <input type="checkbox"/> 情報共有
在校時	<input type="checkbox"/> 連絡 ①状況に応じてホームルーム等で児童、生徒への情報提供と注意喚起	<input type="checkbox"/> 連絡（メール配信等） ①状況に応じてメール・SNS等を利用した保護者への注意喚起		<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議

レベル3

対応が必要

警戒レベル3

- 目撃箇所周辺に集落や施設等があり、危険鳥獣が人の日常生活圏に侵入した場合のうち、危険鳥獣が現在存在している場合。



観 点 段 階	子 供	保 護 者	通 学 路	職 員
登 校 前		<input type="checkbox"/> 連絡 ①状況に応じてメール・SNS等を利用した保護者への注意喚起 (目撃場所・時間等) ②登校時の注意事項 ③保護者へ各停留所への送迎及び学校への送迎を依頼	<input type="checkbox"/> 安全確保 ①警察・スクールガードへの支援要請	<input type="checkbox"/> 正確な情報収集 (林業水産課、山形地区は産業建設課) <input type="checkbox"/> 緊急招集 <input type="checkbox"/> 連絡 ・警察・教育委員会(スクールバス等) <input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議
在 校 時	<input type="checkbox"/> 連絡 ①状況に応じてホームルーム等で児童、生徒への情報提供と注意喚起 <input type="checkbox"/> 屋内避難及び待機 <input type="checkbox"/> 屋外活動の制限 <input type="checkbox"/> 指導 ①休み時間過ごし方 ②下校時の注意事項 ③下校時刻、下校方法の徹底	<input type="checkbox"/> 連絡(メール配信等) ①情報を正確に伝達 ②学校の対応 ③保護者へ各停留所及び学校までの送迎を依頼	<input type="checkbox"/> 安全確保 ①警察・スクールガードへの支援要請	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議 <input type="checkbox"/> 連絡 ・警察・教育委員会
継 続 対 応		<input type="checkbox"/> 連絡(メール配信等) ①最新情報の提供 ②翌日の登校方法 ③通学路の安全対策 ④休日等、屋外での過ごし方の指導 ⑤不安を訴える子供の確認と心のケア	<input type="checkbox"/> 安全確保 ・警察・スクールガードへの支援要請	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議

レベル4

対応が必要

警戒レベル4

- 小中学校及びこども園敷地内、住居集合地及び観光施設敷地内等、人身被害が起こる可能性が極めて高い箇所での目撃または実際に人身被害が発生した場合。

または

- 危険鳥獣が人の日常生活圏に侵入した場合のうち、危険鳥獣が現在存在しており緊急的に捕獲しなければ被害を軽減または除去することができない場合。



観点 段階	子 供	保護者	通学路	職 員
登校前		<input type="checkbox"/> 連絡 ①状況に応じてメール・SNS等を利用した保護者への注意喚起 (目撃場所・時間等) ②休校または登校時間を変更する対応連絡(保護者へ学校への送迎を依頼)	<input type="checkbox"/> 安全確保 ①警察・スクールガードへの支援要請 ②必要に応じて、職員による巡回・立哨・出迎え等	<input type="checkbox"/> 正確な情報収集 (林業水産課、山形地区は産業建設課) <input type="checkbox"/> 緊急招集 <input type="checkbox"/> 連絡 ・警察・教育委員会(スクールバス等) <input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議
在校時	<input type="checkbox"/> 連絡 ①ホームルーム等で児童、生徒への情報提供と注意喚起 <input type="checkbox"/> 全員の所在確認 <input type="checkbox"/> 屋内避難及び待機 <input type="checkbox"/> 屋外活動の制限 <input type="checkbox"/> 指導 ①休み時間過ごし方 ②下校時の注意事項 ③下校時刻、下校方法(引き渡し等)の徹底	<input type="checkbox"/> 連絡(メール配信等) ①情報を正確に伝達 ②学校の対応 ③児童、生徒を学校での引渡し依頼 ④保護者への引き渡し	<input type="checkbox"/> 安全確保 ①警察・スクールガードへの支援要請 ②教員による警戒巡回	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議 <input type="checkbox"/> 連絡 ・警察・教育委員会 <input type="checkbox"/> 保護者が迎えに来るまで教員待機
継続対応		<input type="checkbox"/> 連絡(メール配信等) ①最新情報の提供 ②翌日の休校連絡・登校方法等 ③通学路の安全対策 ④休日等、屋外での過ごし方の指導 ⑤不安を訴える子供の確認と心のケア	<input type="checkbox"/> 安全確保 ・警察・スクールガードへの支援要請	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 対応協議

各校における対応例

- ◎ 普段から保護者・地域・関係機関とクマが出没した際の対応を協議しておく
 - ・校舎周辺及び通学路の草木を切って明るくし、見通しを良くしておく
- ◎ 巡回・立哨・出迎え等の時間や役割分担、位置等を決めておく
- ◎ 保護者への連絡（一斉メール等）
 - ・保護者による付き添いや見守り等の依頼など
- ◎ スクールガードへの協力依頼
- ◎ 出没場所が学校の近くの場合は…
 - ・朝夕の大音量での放送による追い払い
 - ・雷管・爆竹・ロケット花火による追い払い（近隣住民への周知必要）
 - ・1人で行動しないで、複数体制で対応する
 - ・業間時間や昼休みに、子供が校庭にいる場合は、音楽を流すと共に職員が観察する

子供への指導例

- ◎ 1人で行動しないで、友達と一緒に行動する
- ◎ 集団登下校の指導
- ◎ 携帯品の指導
 - ・クマ鈴（持っている人と一緒に行動）
 - ※ 人の存在をクマに知らせ、出会わないための道具
- ◎ 食べ物を持ち歩かない
- ◎ クマを見かけたら、どこでもいいから近くの民家に保護をお願いすること
- ◎ 屋外での遊びの指導（山や藪などでの遊びは控えること）
- ◎ クマが近くにいるサインがあったら、その場から離れる
 - ・糞がある（人間と同じか少し大きめ）
 - ・足跡がある（幅は成獣で7～13 cm）
 - ・クマ棚がある（樹上に折った枝を集めたもので、枯れ葉が付いていることで鳥の巣と区別）
 - ・クマ剥ぎ（スギやヒノキの根本から2mぐらいまで樹皮が剥かれた痕跡）

クマの習性

- 例年久慈市では7～8月に多く出る。（令和5年は9～10月に頻出）
- クマの繁殖期（6～7月）で、オスが頻繁に出歩く。
- 8月の暑い時期は、涼しい早朝、夕方の活動時間が増え、朝夕に目撃されやすい。
- 9～11月は飽食期となり、冬眠に備えエサを探すため、夜でも活動する。
- クマは本来昼行性であるが、人との接触を避けるため夜に行動することもある。
- 草木を切って明るくするとよい。クマは警戒心が強いため、暗い所に出やすい。
- エサを求めて移動する。行動範囲が広い。
- 畑に出てきたクマに襲われることがある。
- 子連れの場合、母グマは子グマを守るために必死であるため、子グマに近付くと危険。
- クマは臆病な動物であるが、脅すと、怖がって襲ってくる。
- トウモロコシが好きで、桑の実にも来る。
- 嗅覚がものすごく敏感で、においにつられて来ることがある。
- 夏の暑いときは、川で遊んでいることがある。
- もしも、クマに出会ってしまったら
 - ・背中を見せて走って逃げない（本能的に襲ってくる）。ゆっくりと後ずさりして離れる。
 - ・カバンなどの持ち物を置いて、それにクマが気を取られている隙に逃げる。
 - ・クマが興奮するので、大声で叫んだり、石や棒などを投げつけたりしない。
 - ・クマが攻撃してきたら、地面にうつぶせになって、手と首の後ろで組む。